

新国立競技場整備事業に係るアドバイザー会議（第7回・持ち回り）

平成31年2月28日～3月18日

（1）工事の進捗状況について

事務局より、工事の進捗状況を報告した。

（2）報告事項について

事務局より、以下の通り説明し、助言を求めた。

施工段階で発生する様々な変更内容については、これまでのアドバイザー会議でご説明したとおり、JSCにおいて、工期、コスト、要求水準への影響について問題無いことを毎週確認している。今回変更契約において、要求水準や技術提案書の内容に影響する項目があったため、その結果をご報告する。

1点目、下水熱・燃料電池については、本施設の運営形態に即して費用対効果等の課題を検証した結果、維持管理に係る後年度負担が大きく、施設の特性上費用対効果が見込めないことが明らかになった。これらの検証結果もふまえて、技術提案等審査委員会及び本アドバイザー会議においてもご議論いただいた結果、平成29年1月31日の第1回アドバイザー会議において、実施の是非については、JSCの経営判断に委ねることとされた。これを受けて、JSCにおいて検討を行った結果、下水熱・燃料電池についてはその実施を見送ることとしたところ。なお、本施設においては、環境負荷低減に資する取組として、卓越風を取り込む設計、雨水利用、太陽光発電、国産木材利用、次世代BEMSによる最適運用管理等が提案され、これらは適切に施設整備に反映されていることから、環境に配慮したスタジアムであるという事実は変わらないと判断している。2点目、設備機械室の電話機設置取り止めについて、要求水準各室性能表では、機械室には構内交換電話を1回線、出入口付近に設置するとしているが、面積が小さく、最寄りの居室に電話機が設置されている1室について、その設置を取り止めとした。3点目、陸上計時測設備の一部取り止めについて、大会時及びレガシー時の施設の運用形態をふまえて組織委員会等の関係団体と調整した結果、不要となる陸上計時測設備の一部を取り止めとした。

次に、今回変更のうち、ホスピタリティエリアを中心に、デザイン関係の見直しが行われた主要内容を説明する。（資料2に基づき説明）

こうした変更のほか、建設工事においてしばしば発生する発注段階で予測できない地中障害等を含め、およそ500項目の変更を盛り込んでいる。今回の変更により、工期、コスト、要求水準に影響が生じないことをJSCにおいて確認済みであり、それを踏まえ、±0で第6回変更契約の締結を行っている。

各アドバイザーから以下のとおり助言を頂戴した。

【〇〇】下水熱の整備を見送ることへのJSCの経営判断については誰からも批判されるものではない。その他変更についても問題ない。他の公共工事においても、統一的な内部空間を構成する必要がある場合には、家具等についても建物と同一の設計思想に基づき配置するべき。今回変更においてVVIP

ラウンジの内部空間を一体的に見直したことは賛成。かつ、金額を±0に納めているので、なお良い。

【〇〇】 工事完成後、オーバーレイ工事が始まってから組織委員会からは是正等の要望が入るようなことはあるのか。

【事務局】 基本的に、完成後においては、大会運営に必要な整備は組織委員会に実施いただく整理となっているため、そのような要望は発生しないと考えている。

【〇〇】 下水熱、燃料電池を見送って、何らかの空きスペースができるか。スペースができる場合、有効活用について考えるべきではないか。

【事務局】 下水熱については、採熱管及び関係する管等の整備を見送るものなので、この変更により大規模な空きスペースは生じない。燃料電池については、空きスペースが生じるが、他方、外構の見直しを進める過程で、屋外緑化の見直しが発生しており、これらの緑化スペースとして活用される予定。

【〇〇】 国が進めるゼロエネルギーとの関係を考えれば、説得力のある説明をしなければならない。使用しない日とイベント時とのエネルギー使用量の差異が大きい施設であるという性格上、これらの環境負荷低減手法が本件施設に照らし合わせると最適でないということを説明すべき。

【〇〇】 下水熱、燃料電池の見送りについては、問題ない。変更契約についても了解した。

【〇〇】 契約変更について了解した。照明の変更について、鳥害、虫害はないか。

【事務局】 蛍線照明は、設えとしては一般的な蛍光灯と同様の露出形状となる。フラッシュインタビューゾーンの照明については、基本的には屋内空間であることから、鳥や虫が多く入り込む場所ではない。

【〇〇】 下水熱、燃料電池の見送りについては了解した。これを見送ることによって、環境評価基準に影響するのか。

【事務局】 見送っても、「CASBEEのSランク相当」は変わらないことを確認している。

【〇〇】 取りやめる計時計測装置はオリンピック・パラリンピック時は組織委員会のオーバーレイ工事になるのか。

【事務局】 オリンピック・パラリンピック時には、大会の公式スポンサーが装置を設置すると聞いている。

【〇〇】 変更内容について、概要を説明していただいているが、アドバイザーが設計図面を見て確認することは可能なのか。

【事務局】 変更契約に係る図面や内訳書の内容については、JSCにおいて細部まで確認を行っており、その中で要求水準に影響を与える内容や、事柄として大きなものをご報告する形で整理させていただいているが、アドバイザーによる細部の確認等のために設計図面が必要となる場合は、いつでも閲覧いただくことは可能。

【〇〇】 照明器具の変更については、文明の「ひかり」から文化の「あかり」へと変更したと理解した。

了解。

【〇〇】下水熱、燃料電池の見送りについては、後年度のランニングコストの負担が増加する見通しであることが見送りの要因として、大きなものであると認識している。維持管理費の抑制への配慮については、要求水準書にも記載しているはずである。ホスピタリティエリアのデザインについては、変更により良くなったと思う。